

日本沙漠学会 2023 年度総会

(2023 年 5 月 27 日 (土) 宮崎市ホテルメリージュ・Web ハイブリッド開催)

次 第

開 会

会長挨拶

議長選出

議 事

1. 2022 年度事業報告・決算報告・会計監査報告
2. 2023-2025 年日本沙漠学会役員選出結果の報告および新規役員の提案
3. 2023 年度事業計画 (案)・予算 (案)
4. 学会賞審査報告
5. 名誉会員の推挙
6. その他

閉 会

1. 2022 年度事業経過・決算・会計監査報告

(1) 2022 年度事業報告

1) 会務報告

a. 会員 2023 年 3 月 31 日現在, 会員数は以下の通り.

- 名誉会員 : 4 名
- 正会員 : 201 名 (入会 6 名, 退会 8 名)
- 学生会員 : 12 名 (入会 8 名, 退会 22 名)
- 賛助会員 : 4 社
- 購読会員 : 3 機関 (4 口)

b. 会議

(a) 日本沙漠学会 2022 年度総会

- ・2022 年 6 月 11 日 (土), 12:15~, 足寄町民センター大ホールおよび Zoom ミーティング会場において, 対面・オンライン・ハイブリッド形式で総会が開催された. 総会の概要を「おあしす」No. 118 (2022 年 6 月) に掲載した.

(b) 評議員会 (第 35 回)

- ・2022 年 4 月 16 日 (土) 15:00~16:30, Web 会議により開催された. 議事概要を「おあしす」No. 114 (2022 年 6 月) に掲載した.

(c) 理事会

- ・第 153~156 回理事会を開催した. 第 153 回議事録を「おあしす」No. 118 (2022 年 6 月) に, 第 154 回議事録を「おあしす」No. 119 (2022 年 9 月) に, 第 155 回議事録を「おあしす」No. 120 (2022 年 12 月) に, 第 156 回議事録を「おあしす」No. 121 (2023 年 3 月) に各々掲載した.

(d) 編集委員会

- ・沙漠研究 Vol. 32 No. 1~Vol. 32 No. 4 を編集し発行した.
- ・2022 年 6 月 10 日 (金), にて拡大編集委員会を足寄において開催した. さらに E-mail によって委員会内における審議を行った.

(e) 学会賞審査委員会

- ・2022 年度の学会賞審査委員会を Web 会議により開催した.

(f) 学会会員数減少への対策検討委員会

- ・委員会内においてメールにより情報交換を行った.

2) 刊行物

a. 日本沙漠学会誌「沙漠研究」

- ・Vol. 32 No. 1 (2022 年 6 月), Vol. 32 No. 2 (2022 年 9 月), Vol. 32 No. 3 (2022 年 12 月), Vol. 32 No. S (2022 年 12 月), Vol. 32 No. 4 (2023 年 3 月)

※J-STAGE による電子版の公開と年度末の合本号冊子の発行

b. ニュースレター「おあしす」

- ・No. 118 (2022 年 6 月), No. 119 (2022 年 9 月)
No. 120 (2022 年 12 月), No. 121 (2023 年 3 月)

※Web サイトでの電子版の公開

c. 日本沙漠学会講演要旨集

- ・第 33 集（第 33 回学術大会，2022 年 6 月 11 日～6 月 12 日）

※Web サイトでの電子版の公開

d. 学会ホームページによる情報提供

- ・学会ホームページによる活動状況に関する情報提供を行った。理事会，分科会，シンポジウム，関連学協会の催事等の開催案内と報告等をタイムリーに掲載し更新した。

3) 講演会及び研究会等の開催

a. 第 33 回学術大会

- ・2022 年 6 月 11 日（土）～6 月 12 日（日），新型コロナウイルス感染拡大の影響で 1 年間延期された北海道（酪農学園大学）での開催を，足寄町民センターにおいて実施した。オンラインによる口頭発表の配信（Zoom）も併用したハイブリッド形式を採用した。ポスター発表については，事前に Google ドライブにてポスターを掲示しコメント機能で質疑応答・討論を行い，オンサイト・オンラインのハイブリッド形式でのショートプレゼンテーションを行った。大会およびエクスカージョンの開催概要を「おあしす」No. 118（2022 年 6 月）に掲載した。

b. 2022 年度秋季シンポジウム

- ・2022 年 10 月 12 日（土），「遊牧を考える—過去・現在・未来」と題して，対面会場のレクターレ湯河原とオンライン（Zoom）配信併用のハイブリッド形式で開催した。シンポジウムの開催概要を「おあしす」No. 120（2022 年 12 月）に掲載した。

c. その他

- ・なし

4) 分科会等の活動

a. 沙漠工学分科会（2023 年 3 月 31 日現在，登録者数：85 名）

会長：田島 淳（東京農業大学）

幹事：鈴木伸治（東京農業大学）

連絡先（事務局）：〒156-8502 世田谷区桜丘 1-1-1

東京農業大学 地域環境科学部 生産環境工学科

Tel：03-5477-2351，Fax：03-5477-2620

E-mail：s4suzuki@nodai.ac.jp

活動実績：2023 年 3 月 8 日（木），第 33 回講演会として「極乾燥地域ジブチにおける持続可能な農牧業を目指した共同研究 Collaborative Studies for Sustainable Agropastoral of Extremely Dry Environment in Djibouti」と題したシンポジウムを，東京農業大学・サイエンスポート 8F エアブリッジおよびオンライン（Zoom）配信併用のハイブリッド形式で開催した。話題提供者および提供話題は，Sawahiko Shimada (Tokyo University of Agriculture) 「Overview of the SATREPS project

studies」, Ibrahim Souleiman Abdallah (University of Djibouti) 「Discovery of Spirulina in Lake Abbe in reference to its distribution in East Africa」, Idil Mouhoumed Elmi (University of Djibouti) 「The chemical composition of the Djiboutian water resources」, Abdillahi Houssein Abdallah (University of Djibouti) 「Agroresources in Djibouti」 Rikako Kimura and Akira Kurosawa (Tokyo University of Agriculture) 「Grazing capacity parameters collected from Ali Sabieh rangelands in Djibouti」, Fumio Watanabe and Atsushi Sanada (Tokyo University of Agriculture) 「Sustainable Agro-pastoral experimental field establishment in Douda, Djibouti」. オンサイト 30 名, オンライン 21 名の参加を得た. シンポジウムの開催概要は「おあしす」No. 1121 (2023 年 3 月) に掲載した.

b. 乾燥地農学分科会 (2023 年 3 月 31 日現在, 登録者数 : 181 名)

会長 : 石川祐一 (秋田県立大学)

連絡先 (事務局) : 〒914-0041 東京都町田市玉川学園 8-3-23

(株) アースアンドヒューマンコーポレーション気付

FAX : 018-872-1677

E-mail : owner-cadal@ijnet.or.jp

活動実績 : (1) 2022 年 11 月 9 日 (水), 第 31 回講演会「乾燥地と日本の食糧 : 供給源の構造変化にどう対応するか?」のテーマで赤羽会館講堂において開催した. 話題提供者は, 吉橋 忠 (国際農林水産業研究センター), 齋賀大昌 (農林水産省みどりの食料システム戦略グループ), 羽賀清典 (畜産環境整備機構), 佐伯真魚. 19 名の参加者を得た.

c. 沙漠誌分科会 (2023 年 3 月 31 日現在, 登録者数 : 64 名)

会長 : 縄田浩志 (秋田大学国際資源学部)

連絡先 (事務局) : 〒010-8502 秋田市手形学園町 1 番 1 号 (河合研究室)

E-mail : sabakushi.c@gmail.com

活動実績 : (1) 沙漠研究の特集論文として, 2018 年 10 月開催の研究会「サウディアラビア, ワーディ・ファーティマ半世紀前の記録とその活用に向けた方法論の検討」に関する小特集を企画, 投稿・査読中.

d. 風送ダスト研究会 (2023 年 3 月 31 日現在, 会員数 : 12 名)

会長 : 黒崎泰典 (鳥取大学)

連絡先 (事務局) : 〒680-0001 鳥取市浜坂 1390

鳥取大学 乾燥地研究センター

TEL : 0857-21-7032, FAX : 0857-29-6199

5) 国内外の研究者・関係機関との交流及び協力

a. 日本地球惑星科学連合での活動.

b. 地理学連携機構・地理関連学会連合への協力.

(2) 2022 年度決算報告

(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

(単位：円)

	費目	決算額	予算額	対予算額増減	備考
収入の部	繰越金	7,466,673	7,466,673		
	会費	1,775,000	2,004,000	-229,000	
	1) 入会金	14,000	10,000	4,000	14件
	2) 正会員費	1,441,000	1,624,000	-183,000	2022年度164名+過年度及び前受16名+1000円過入金1名
	3) 学生会員費	60,000	110,000	-50,000	12件
	4) 購読会員費	60,000	60,000	0	6件
	5) 賛助会員費	200,000	200,000	0	4社
	その他収入	186,212	370,000	-183,788	
	1) 出版費	168,000	360,000	-192,000	著者負担金
	2) その他	18,212	10,000	8,212	分科会戻し金(18,200)、銀行利子(12)
(小計)	1,961,212	2,374,000	-412,788		
合計	9,427,885	9,840,673	-412,788		
支出の部	加盟団体会費	10,000	10,000	0	日本地球惑星科学連合年会費
	学会誌発行費	1,259,280	975,000	284,280	
	1) データ作成費	925,100	600,000	325,100	沙漠研究31巻4号～32巻3号編集費・J-stage登録費 おあしす31巻4号～32巻3号編集費
	2) 合本発行費	315,700	350,000	-34,300	沙漠研究第31巻合本作成費
	3) 発送費	18,480	25,000	-6,520	発送手数料・メール便
	活動準備金	496,431	505,000	-8,569	
	1) 大会預託金	352,161	200,000	152,161	第33回(2022年4月152,161) 第34回(2023年1月200,000)
	2) シンポジウム預託金	19,270	100,000	-80,730	秋季シンポジウム学生アルバイト代
	3) 分科会交付金	125,000	205,000	-80,000	乾燥地農学分科会
	4) DT14預託金	0	0	0	
	表彰費	0	20,000	-20,000	
	会議費	0	12,000	-12,000	
	事務運営費	189,930	310,000	-120,070	
	1) 通信・郵送費	99,093	100,000	-907	振込手数料 会費請求等郵送代、選挙発送費用
	2) 印刷費	33,000	100,000	-67,000	選挙名簿作成(33,000)
	3) 事務費	33,837	30,000	3,837	切手・備品購入代金、ZOOM立替代金(33,000)
	4) 交通費	0	50,000	-50,000	
5) 諸雑費	24,000	30,000	-6,000	サーバー更新(24,000)	
学会業務等外部委託費	508,200	508,200	0	2022年度分定額462,000円+消費税(10%)	
予備費	0	33,800	-33,800		
(小計)	2,463,841	2,374,000	89,841		
次年度繰越金	6,964,044	7,466,673	-502,629		
合計	9,427,885	9,840,673	-412,788		

(3) 貸借対照表および監査報告

貸借対照表
(2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
郵便振込口座	5,581,785	借入金	0
三菱UFJ銀行	1,369,284	次期繰越金	6,964,044
現金	12,975		
合計	6,964,044	合計	6,964,044

会計監査報告

日本沙漠学会2022年度会計報告に基づき、帳簿・帳票類を監査したところ、適正に運営されたことを確認いたしました。

2023年4月8日

日本沙漠学会 監事 豊田 裕道

日本沙漠学会 監事 渡邊 文雄



2. 2023-2025 年度日本沙漠学会役員選出結果の報告および新規役員の提案

会 長	森尾貴広				
副 会 長	島田沢彦	田中 徹 [○]			
監 事	高橋新平	渡邊三津子			
理 事 (総務担当)	真田篤史 [○]	鈴木伸治			
(財務担当)	矢沢勇樹	渡邊文雄			
(編集担当)	川端良子	酒井裕司			
(企画担当)	石川祐一	入江光輝			
(学会賞担当)	児玉香菜子	的場泰信 [○]			
評 議 員	安部 豊	石川祐一	入江光輝	川田清和	川端良子
	北村義信	小島紀徳	児玉香菜子	小長谷有紀	酒井裕司
	真田篤史 [○]	篠田雅人	篠原 卓	島田沢彦	菅沼秀樹
	鈴木伸治	高橋新平 [○]	田島 淳	田中 徹 [○]	豊田裕道
	縄田浩志	平田昌弘	藤巻晴行	星野仏方	的場泰信 [○]
	三木直子 [○]	森尾貴広	矢沢勇樹	渡邊文雄	渡邊三津子
顧 問	安部征雄	小島紀徳	豊田裕道	森 卓	

理事と評議員のうち、[○]は会長選任。それ以外は選挙当選者。顧問は理事会で選任。

委 員 会 (参考, 2023 年 4 月 15 日現在) ^{補足 3}

総務委員会 (*¹委員長 *²事務局 ^W: Webmaster)

鈴木伸治*¹ 真田篤史 篠原 卓 檜谷 昂 齋藤哲治*^{2W}

財務委員会 (*¹委員長)

矢沢勇樹*¹ 渡邊文雄

編集委員会 (*¹委員長 *²名誉委員長 *³副委員長 *⁴事務局)

川端良子*¹ 酒井裕司*³ 小島紀徳*² 安部征雄*² Tim Davis

Richard Harper 安部 豊 石川祐一 石本雄大 石山 俊

入江光輝 遠藤 仁 川田清和 北村義信 児玉香菜子

清水克之 菅沼秀樹 高橋新平 地田徹朗 豊田裕道

縄田浩志 平田昌弘 藤巻晴行 的場泰信 三木直子

森尾貴広 渡邊三津子 三角誠司*⁴

企画委員会 (*¹委員長)

石川祐一*¹ 入江光輝

学会賞審査委員会 (*¹委員長 *²幹事)

的場泰信*¹ 児玉香菜子*² 安部 豊 石本雄大

分科会長 (*¹沙漠工学 *²乾燥地農学 *³沙漠誌 *⁴風送ダスト)

田島 淳*¹ 石川祐一*² 縄田浩志*³ 黒崎泰典*⁴

3. 2023 年度事業計画及び予算（案）

(1) 2023 年度事業計画（案）

1) 会務

a. 会員 2023 年 4 月 1 日現在，会員数は以下の通り．

名誉会員： 4 名 正会員： 201 名

学生会員： 12 名 賛助会員： 4 社

購読会員： 3 機関（4 口）

b. 会議

(a) 日本沙漠学会 2023 年度総会

・2023 年 5 月 27 日（土）宮崎県ホテルメリージュ-Web ハイブリッド形式開催．

(b) 評議員会（第 36 回）

・2023 年 4 月 15 日（土）晴海区民館および Web ハイブリッド形式で既に開催．

(c) 理事会（第 157 回）

・2022 年 4 月 15 日（土）晴海区民館および Web ハイブリッド形式で既に開催．
他 4 回の開催．

(d) 総務委員会 適宜開催する．

(e) 財務委員会 適宜開催する．

(f) 編集委員会 適宜開催する．

(g) 企画委員会 適宜開催する．

(h) 学会賞審査委員会

・2023 年 5 月 27 日（土），第 34 回学術大会におけるベストポスター賞の審査を
行う．また委員会を適宜開催する．

(i) 学会会員数減少への対策検討委員会 適宜開催する．

(j) 会則等改定委員会 会長の要請により適宜開催する．

2) 刊行物

a. 日本沙漠学会誌「沙漠研究」

・Vol. 33 No. 1（2023 年 6 月），Vol. 33 No. 2（2023 年 9 月），
Vol. 33 No. 3（2023 年 12 月），Vol. 33 No. 4（2024 年 3 月）

※J-Stage による電子版の公開と年度末の合本号冊子の発行

b. ニュースレター「おあしす」

・No. 122（2023 年 6 月），No. 123（2023 年 9 月），
No. 124（2023 年 12 月），No. 125（2024 年 3 月）

※Web サイトでの電子版の公開

c. 日本沙漠学会講演要旨集

・第 34 集（第 34 回学術大会，2023 年 5 月 27 日）

※Web サイトでの電子版の公開

d. 日本沙漠学会ホームページでの適宜情報発信，入会案内の更新．

3) 講演会の開催

a. 第 34 回学術大会

- ・2023 年 5 月 27 (土) ～5 月 28 日 (日) 宮崎県ホテルメリージュおよび宮崎大学木花キャンパス於開催 (研究発表会・総会・学会賞授与等).
- ・2023 年 5 月 27 日 (土) 第 34 回学術大会企画シンポジウム「宮崎から見る世界の農業・防災・エネルギー」(宮崎県ホテルメリージュ・大ホール鳳凰)

b. 秋季シンポジウム

- ・2023 年 11 月ごろに「乾燥アフリカにおけるアグロパストラル実装展開 (仮)」と題して、ハイブリット形式で開催予定.

c. その他

- ・適宜ミニシンポジウムを開催.

4) 分科会講演会等の活動

a. 沙漠工学分科会

- ・2023 年 11 月ごろに秋季シンポジウムを主催予定.
- ・分科会会員と関連団体組織等との交流 (共同研究等).

b. 乾燥地農学分科会

- ・2023 年 11 月に第 32 回乾燥地農学講演会を開催
- ・分科会機関誌「CADAL ニュース」第 68 号をおあしすに掲載

c. 沙漠誌分科会

- ・2023 年夏 (予定), 新型コロナウイルス感染症の影響により延期されている研究会「フリー&オープンソースソフトウェアを用いたフィールドワークと分析の実践 (第 2 回)」を開催する.
- ・2023 年夏 (予定), 沙漠誌分科会シンポジウム「乾燥地・半乾燥地における「系」としての「熱」再考ー現在中東における文化と生業への着目からー」を開催する.
- ・沙漠研究の特集論文として, 2018 年 10 月開催の研究会「サウディアラビア、ワーディ・ファーティマ半世紀前の記録とその活用に向けた方法論の検討」に関する小特集への投稿を継続。2019 年度秋季シンポジウム「半世紀前の写真資料の研究活用: サウディアラビア, ワーディ・ファーティマ地域における再調査から」に関する小特集を企画・投稿.

d. 風送ダスト研究会

5) 国内外の研究者・関係機関との交流及び協力

- a. Desert Technology XV (2023 年 6 月 3 日～6 月 5 日) ヨルダン開催への協力.
- b. 日本地球惑星科学連合活動への協力.
- c. 地理学連携機構・地理関連学会連合活動への協力.
- d. その他 国内外の講演会等への協力・関係機関との交流及び協力.

6) その他本会の目的達成のための事業

必要な事業を随時開催.

(2) 2023 年度予算 (案)

(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

(単位：円)

	費目	予算額	前年度決算額	対前年度額増減	備考
収入の部	繰越金	6,964,044	7,466,673	-	
	会費	1,922,000	1,775,000	147,000	
	1) 入会金	14,000	14,000	0	新規会員14名想定
	2) 正会員費	1,608,000	1,441,000	167,000	正会員数(2023.4.1現在)201名
	3) 学生会員費	60,000	60,000	0	学生会員数(2023.4.1現在)12名
	4) 購読会員費	40,000	60,000	-20,000	3機関(4口)
	5) 賛助会員費	200,000	200,000	0	4社
	助成金	0	0	0	
	その他収入	370,000	186,212	183,788	
	1) 出版費	360,000	168,000	192,000	原著論文2報×4号
2) その他	10,000	18,212	-8,212	著作権料、利息等	
	(小計)	2,292,000	1,961,212	330,788	
	合計	9,256,044	9,427,885	-171,841	
支出の部	加盟団体会費	10,000	10,000	0	日本地球惑星科学連合団体年会費
	学会誌発行費	1,079,300	1,259,280	-179,980	
	1) データ作成費	600,000	925,100	-325,100	各号150,000円×4号
	2) 合本発行費	454,300	315,700	138,600	Vol.33(1)-(4)合冊分
	3) 発送費	25,000	18,480	6,520	発送手数料・メール便・郵送料
	活動準備金	305,000	496,431	-191,431	
	1) 大会預託金	0	352,161	-352,161	学術大会開催経費(宮崎大会), 前年度送金
	2) シンポジウム預託金	100,000	19,270	80,730	シンポジウム開催経費
	3) 分科会交付金	205,000	125,000	80,000	3分科会
	表彰費	20,000	0	20,000	学術賞表彰状作成
	会議費	12,000	0	12,000	評議員会・理事会経費
	事務運営費	310,000	189,930	120,070	
	1) 通信・郵送費	100,000	99,093	907	振込手数料 会費請求等郵送代
	2) 印刷費	100,000	33,000	67,000	総会・会議資料
	3) 事務費	30,000	33,837	-3,837	消耗品費等
	4) 交通費	50,000	0	50,000	
	5) 諸雑費	30,000	24,000	6,000	Webサーバー管理費等
学会業務等外部委託費	508,200	508,200	0		
	(小計)	2,292,000	2,463,841	-171,841	
	次年度繰越金	6,964,044	6,964,044	0	
	合計	9,256,044	9,427,885	-171,841	

4. 学会賞審査報告

令和5年度 日本沙漠学会 奨励賞

氏名：丸山優樹 会員

テーマ：セネガル川氾濫原での新規農地開発に基づく食料安全保障の改善に向けたコメ消費者趣向調査

氏名：アロウイシー・アデル 会員

テーマ：土質材料の多孔質性を活かした覆土システムの効率化と半乾燥地への適用に関する研究

5. 名誉会員の推挙

豊田 裕道 会員

小島 紀徳 会員

6. その他

学術大会ベストポスター賞【アナウンス】

2020～2022 年度日本沙漠学会役員

会 長	森尾貴広				
副 会 長	鈴木伸治	田中 徹			
監 事	渡邊文雄	豊田裕道			
理 事	(総務担当)	島田沢彦	田島 淳		
	(財務担当)	高橋新平	矢沢勇樹		
	(編集担当)	川端良子	小島紀徳		
	(企画担当)	小長谷有紀	石川祐一		
	(学会賞担当)	渡邊三津子	的場泰信		
評 議 員	安部 豊	石川祐一	入江光輝	牛木久雄	川端良子
	北村義信	小島紀徳	児玉香菜子	小長谷有紀	酒井裕司
	真田篤史	篠原 卓	島田沢彦	菅沼秀樹	鈴木伸治
	高橋新平	田島 淳	田中 徹	豊田裕道	縄田浩志
	平田昌弘	藤巻晴行	的場泰信	三木直子	森尾貴広
	森 卓	矢沢勇樹	依田清胤	渡邊文雄	渡邊三津子
顧 問	安部征雄	森 卓			

委 員 会 (参考)

総務委員会 (※1 委員長 ※2 事務局 ^W: Webmaster)
 島田沢彦^{※1,W} 田島 淳 真田篤史 篠原 卓 齋藤哲治^{※2}

財 務 委 員 会 (※1 委員長)

高橋新平^{※1} 矢沢勇樹

編 集 委 員 会 (※1 委員長 ※2 名誉委員長 ※3 副委員長 ※4 事務局)

川端良子^{※1} 小島紀徳^{※2} 安部征雄^{※2} 酒井裕司^{※3} Tim Davis
 Richard Harper 安部 豊 石川祐一 石本雄大 石山 隆
 入江光輝 遠藤 仁 川田清和 北村義信 児玉香菜子
 周 建中 菅沼秀樹 高橋新平 地田徹朗 豊田裕道
 縄田浩志 平田昌弘 藤巻晴行 的場泰信 三木直子
 森尾貴広 渡邊三津子 三角誠司^{※4}

企 画 委 員 会 (※1 委員長)

小長谷有紀^{※1} 石川祐一

学 会 賞 審 査 委 員 会 (※1 委員長 ※2 幹事)

渡邊三津子^{※1} 的場泰信^{※2} 安部 豊 石本雄大

分科会長 (※1 沙漠工学 ※2 乾燥地農学 ※3 沙漠誌 ※4 風送ダスト)

田島 淳^{※1} 石川祐一^{※2} 縄田浩志^{※3} 黒崎泰典^{※4}

2023～2025 年度日本沙漠学会役員

会 長	森尾貴広				
副 会 長	島田沢彦	田中 徹 [○]			
監 事	高橋新平	渡邊三津子			
理 事	(総務担当)	真田篤史 [○]	鈴木伸治		
	(財務担当)	矢沢勇樹	渡邊文雄		
	(編集担当)	川端良子	酒井裕司		
	(企画担当)	石川祐一	入江光輝		
	(学会賞担当)	児玉香菜子	的場泰信 [○]		
評 議 員	安部 豊	石川祐一	入江光輝	川田清和	川端良子
	北村義信	小島紀徳	児玉香菜子	小長谷有紀	酒井裕司
	真田篤史 [○]	篠田雅人	篠原 卓	島田沢彦	菅沼秀樹
	鈴木伸治	高橋新平 [○]	田島 淳	田中 徹 [○]	豊田裕道
	縄田浩志	平田昌弘	藤巻晴行	星野仏方	的場泰信 [○]
	三木直子 [○]	森尾貴広	矢沢勇樹	渡邊文雄	渡邊三津子
顧 問	安部征雄	小島紀徳	豊田裕道	森 卓	

理事と評議員のうち、[○]は会長選任。それ以外は選挙当選者。顧問は理事会で選任。

委 員 会 (参考, 2023 年 4 月 15 日現在)

総務委員会 (*¹委員長 *²事務局 ^W: Webmaster)

鈴木伸治*¹ 真田篤史 篠原 卓 檜谷 昂 齋藤哲治*^{2W}

財務委員会 (*¹委員長)

矢沢勇樹*¹ 渡邊文雄

編集委員会 (*¹委員長 *²名誉委員長 *³副委員長 *⁴事務局)

川端良子*¹ 酒井裕司*³ 小島紀徳*² 安部征雄*² Tim Davis

Richard Harper 安部 豊 石川祐一 石本雄大 石山 俊

入江光輝 遠藤 仁 川田清和 北村義信 児玉香菜子

周 建中 菅沼秀樹 高橋新平 地田徹朗 豊田裕道

縄田浩志 平田昌弘 藤巻晴行 的場泰信 三木直子

森尾貴広 渡邊三津子 三角誠司*⁴

企画委員会 (*¹委員長)

石川祐一*¹ 入江光輝

学会賞審査委員会 (*¹委員長 *²幹事)

的場泰信*¹ 児玉香菜子*² 安部 豊 石本雄大

分科会長 (*¹ 沙漠工学 *² 乾燥地農学 *³ 沙漠誌 *⁴ 風送ダスト)

田島 淳*¹ 石川祐一*² 縄田浩志*³ 黒崎泰典*⁴

日本沙漠学会名誉会員

安部征雄，牛木久雄，小島紀徳，都留信也，豊田裕道，真木太一

学 会 事 務 局

2023～2025 年度

日本沙漠学会事務局は、下記の機関において役割分担しています。用件の内容に応じて担当にご連絡下さい。

【日本沙漠学会事務局】

〒104-0033 東京都中央区新川 2-22-4 共立ビル 2F 株式会社共立内

Tel : 03-3551-9896 Fax : 03-3553-2047 Email : jaals@kyouritsu-online.co.jp

【日本沙漠学会総務担当】

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1

鈴木伸治：東京農業大学地域環境科学部生産環境工学科

Tel : 03-5477-2351 Fax : 03-5477-2941 E-mail : s4suzuki@nodai.ac.jp

真田篤史：東京農業大学国際食料情報学部国際農業開発学科

Tel : 03-5477-2406 Fax : 03-5477-2947 E-mail : a3sanada@nodai.ac.jp

【日本沙漠学会財務担当】

〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 2-17-1

矢沢勇樹：千葉工業大学工学部応用化学科

E-mail : yuuki.yazawa@p.chibakoudai.jp

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1

渡邊文雄：東京農業大学地域環境科学部生産環境工学科

E-mail : f-nabe@nodai.ac.jp

【日本沙漠学会編集委員会】

〒183-8509 東京都府中市幸町 3-5-8

川端良子：東京農工大学農学研究員国際環境農学部門

E-mail : yoshikok@cc.tuat.ac.jp

〒192-0015 東京都八王子市中野町 2665-1

酒井裕司：工学院大学先進工学部環境化学科

E-mail : sakai@cc.kogakuin.ac.jp

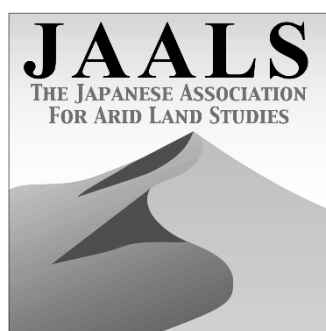
編集事務局：株式会社共立 三角誠司気付

〒104-0033 東京都中央区新川 2-22-4 共立ビル 2F

Tel : 03-3551-9896 Fax : 03-3553-2047 E-mail : jals.editorial@gmail.com

【日本沙漠学会ホームページアドレス】

<http://www.jaals.net/>



日本沙漠学会